



今月の主な内容

- まちの財政状況の公表
- 庁舎等検討委員会の開催状況
- マイナンバー商品券

今月の表紙

にぎにぎ、かみかみ 木に触れる
町木オンコで作られた「森の輪」を贈呈

まちの財政状況と

上半期の予算執行状況

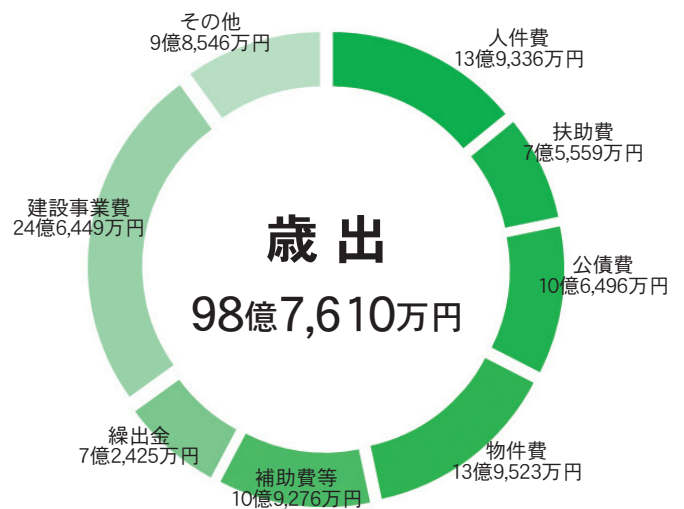
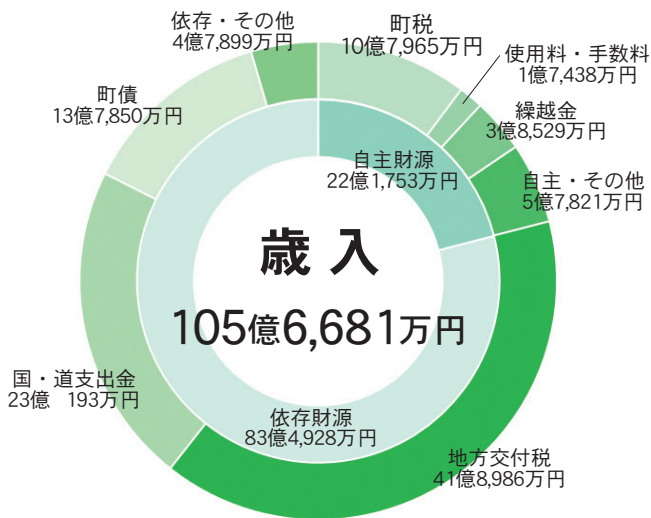
財政状況の公表は、町民の皆さんに町の財政をご理解いただくため、毎年2回行っているものです。
今回は令和3年度の決算状況と令和4年度上半期の予算執行状況について、その概要をお知らせします。



令和3年度一般会計・特別会計決算の概要

この財政状況は令和3年度各種会計歳入歳出決算書より作成しています。
※基金については、令和4年5月31日現在の額です。

◆一般会計



項目	説明
町税	町民税や固定資産税など
使用料・手数料	施設使用料や公営住宅家賃など
繰越金	前年度から持ち越したお金
自主・その他	財産収入、その他雑入など
地方交付税	一定の行政運営をするための国からの交付金
国・道支出金	国、北海道からの補助金など
町債	建設事業を行うためなどに借りましたお金
依存・その他	譲与税や交付金など
自主財源	町自らが決定し収入する財源
依存財源	国や道の決定に基づき収入する財源

項目	説明
人件費	議員報酬、職員の給料など
扶助費	医療費の給付費など
公債費	今までに借りました町債の元金と利息
物件費	消耗品や施設の光熱水費、委託料など
補助費等	各団体や個人に対する補助、負担金など
繰出金	特別会計への一般会計負担分
建設事業費	建物や道路の建設費など
その他	施設の維持費や積立金など

◆特別会計

会計名	歳入	歳出	差引	基金残高	町債残高	
国民健康保険	14億5,530万円	14億5,071万円	459万円	1億5,751万円	-	
後期高齢者医療	1億5,113万円	1億5,106万円	7万円	-	-	
介護保険	11億3,011万円	11億1,995万円	2,816万円	1億2,019万円	-	
水道事業	収益的収支	2億569万円	2億3,560万円	△2,991万円	-	1億270万円
	資本的収支	1,108万円	2,210万円	△1,102万円	-	-
簡易水道事業	1億3,033万円	1億2,943万円	90万円	-	3億1,937万円	
下水道事業	3億5,275万円	3億5,203万円	72万円	-	15億4,011万円	

◆町税の状況



町民一人あたり負担 約13万1千円
(令和4年3月31日現在 人口8,214人)

◆町有財産の状況 (令和4年3月31日現在)



基金 77億 545万円



山林 4,260ha



土地 1,859ha



建物 169,586㎡



車輛 104台

◆基金の状況

積立基金	77億 545万円	
内訳	財政調整基金	45億4,619万円
	減債基金	9億4,529万円
	ふるさと創生基金	5億1,507万円
	地域福祉基金	3億5,029万円
	公共施設整備基金	3億1,024万円
	旧国鉄代替輸送確保基金	6億7,210万円
	その他特定目的基金	3億6,627万円
定額運用基金	2,266万円	
備荒資金組合積立金	2億8,449万円	
総合計	80億1,260万円	
前年度比	+5億6,328万円	

◆地方債の状況

一般会計地方債残高	111億3,517万円
前年度比	+3億4,633万円

積立基金、地方債を町民一人あたりの額に換算すると
(令和4年3月31日現在 人口8,214人)

- ・積立基金(貯金) ~ 約93万8千円
- ・地方債(借金) ~ 約135万5千円となります。

※地方債(借金)の約72%は今後地方交付税(国からの仕送り)で措置されるため、実際の負担は38万円程度になります。

令和4年度上半期の予算執行状況

各会計の上半期(4月~9月)の予算執行状況は下記のとおりです。
予算額に対する歳入歳出額をグラフ、表で示しています。

◆一般会計 (予算額 116億 591万円)

収入	収入済額 48億4,115万円 41.7%	収入未済額 67億6,476万円 58.3%
	支出済額 41億5,641万円 35.8%	支出未済額 74億4,950万円 64.2%

表中のパーセンテージは収入率、執行率です。

なお、水道事業会計(資本的収支)において、収入済額よりも支出済額が多くなっていますが、収支の不足額は損益勘定留保資金で補っています。

◆特別会計

会計名	予算額	収入済額	収入率	支出済額	執行率
国民健康保険	14億8,030万円	6億256万円	40.7%	5億6,703万円	38.3%
後期高齢者医療	1億6,010万円	5,157万円	32.2%	4,766万円	29.8%
介護保険	11億5,972万円	6億3,973万円	55.2%	4億6,197万円	39.8%
簡易水道事業	9,060万円	7,214万円	79.6%	4,628万円	51.1%
下水道事業	4億500万円	1億9,456万円	48.0%	1億2,841万円	31.7%

会計名	収入予算額	収入済額	収入率	支出予算額	支出済額	執行率	
水道事業	収益的収支	2億86万円	9,184万円	45.7%	2億4,750万円	4,451万円	18.0%
	資本的収支	860万円	0万円	0.0%	1,950万円	873万円	44.8%

平成21年10月5日合併
本庁・総合支所方式



平成28年より「分庁舎方式」



刈田町長(右)より諮問書が提出
され、受け取る岩佐委員長(左)



新築?

改修?

所在地は?

役場庁舎の集約化に向け
検討を行っています

検討に至った経緯

本町は、平成21年10月5日に旧上湧別町と旧湧別町が合併して新たな町として誕生しました。

合併時の庁舎は「本庁・総合支所方式」でしたが、平成28年より「分庁舎方式」に変更し、合併10年を目途に「本庁・支所方式」とすることとして今日に至っています。

令和3年11月に刈田町長が就任し、町民の利便性の向上、行政の効率化および防災対策の充実を図るため、また、庁舎集約化に欠かせない財源(地方債)である合併推進債の借入期限が迫っていることから、町民による検討委員会を本年設置し、懸案であった庁舎集約化の検討を進めることとなりました。

庁舎等検討委員会の 開催状況

◆第1回(委員委嘱・諮問)

各委員への委嘱状交付後、町長から、本町の懸案である庁舎等集約化による庁舎等再配置および庁舎等整備について審議いただくため、諮問を行いました。

町からは、庁舎集約に係るこれまでの経緯、現在の庁舎等の状況および庁舎集約化の必要性を説明しました。

各委員からは、現時点での庁舎に対する思い等を述べていただきました。



◆第2回(集約化の検討)

集約先の候補となる施設(上湧別庁舎・湧別庁舎・文化センター・TOM・中湧別小学校・新築庁舎)の利便性・安全性・経済性・機能性についてメリット・デメリット

を説明しました。

委員からの主な意見・質疑

● 庁舎は、防災拠点の役割が重要と発言したが、自然災害だけでなく、大規模な事故も含めた災害と考えている。その際は、相応の敷地が必要になるものと考ええる。

● 湧別庁舎を改修した場合、今後使用は可能なのか。

● 町耐震改修が必要であり、改修は可能であると考えている。ただし、耐用年数が延長されることはない。

● 新築は既存施設より機能が向上し維持費の削減が見込まれるが、当然初期費用が相当かかる。新庁舎建設費用と既存庁舎改修費用の差額分を、維持費の差額分で考えると相当の期間が必要になり、方向性を決める検討材料としてはとても重要と考える。

● 集約した場合、現在庁舎のある地域の住民手続き等の対応はどうなるのか。

● 町庁舎がなくなった地域については、出張所などを設置する必要があると考える。



◆第3回（集約化の検討）

町からは、総務省等の基準を基に庁舎集約に必要となる規模を説明しました。

●庁舎（約4500㎡）

●保健福祉センター（約700㎡）

委員からの主な意見・質疑

●庁舎等の規模の算定時に現在の職員数を基に算出しているが、人口減少とともに職員も減少しているため、それらも加味した方がよいのではないか。

町方向性が定まった際には、職員数などを精査し適正な規模を算定する。

◆第4回（集約化の検討）

町からは、集約化の候補施設の改修費等の概算費用を提示し説明しました。

●上湧別庁舎（27億4900万円）

●文化センターTOM（39億7400万円）

●中湧別小学校（31億7800万円）

●新築庁舎（38億1000万円）

委員からの主な意見・質疑

●上湧別庁舎の改修・増築案について、現状の敷地面積で増築の部分は足りるのか。

町庁舎の表（西側）にある庭、もしくは裏（東側）にある職員駐車場の活用を検討することとなる。

●職員数が減少した際に余剰となった施設を別の用途で活用することができ、グラウンドや周辺に有事に活用できる土地を確保できることから中湧別小学校の改築等の案が良いと考える。

また、庁舎集約にあたってはコンパクトで、職員が仕事をスムーズにできるような造りであって欲しい。

●文化センターTOMは、改修費用が新築より高く、新築の方が庁舎の内部や場所を決めること

ができるため、候補から外しても良いと考える。

●新築は優位であるが、新築と改修に10億円程の差があり、合併推進債を活用しても7億円程の町の負担が発生する。この費用分を他の事に活用できるのではないかと考える町民が一定数出てくると考える。なぜ改修ではなく新築かという議論を尽くす必要があると考える。

●新築が良いと考えている。案で示されている庁舎等は築年数がたっており、建て替えが必要となった時には人口減少が進み、町の財政はどうなっているか分からない。今であれば合併推進債を活用することができ条件的に有利である。

上湧別庁舎改修案の検討

●駐車場は足りるのか。

●町来客用の駐車場は足りるが、職員および公用車の駐車場は不足が見込まれるため、近隣の町有地を活用することとなる。

●来客用駐車場の入口と一台あたりの駐車スペースが狭く改善が必要。このため、現状の駐車可能台数は50台程度だが、駐車スペースを広くすると40台程度に

なるのではないか。

●町民の利便性が重要である。合併して、湧別地区、中湧別地区、上湧別地区を考えると、庁舎が上湧別地区にあるというのが今後の集約に向けてどうなのかなと思っています。

●これまでの意見を聞くと上湧別庁舎の改修案は外しても良いのではないか。

●上湧別庁舎はあくまで改修案の中では有力案である。問題点はあくまで現状であり、上湧別庁舎を活用する際は改修することとなる。新築であっても使い始めた問題点は出てくるため、新築だから良いとなる訳ではない。

第3回を終了しての委員会決定事項

【庁舎の方式】

行政の効率化を図るため「本庁・支所方式」とする

【集約候補施設】

安全性を基に検討、協議の結果、湧別庁舎は、津波災害リスクと耐震基準の問題があることから候補施設から除外する。



第4回を終了しての委員会決定事項

【集約候補施設】

文化センターTOMの改修案は、検討・協議の結果、改修費用等を考慮し候補施設から除外する。



◆第5回（集約化の検討）

中湧別小学校改修案の検討

●中湧別小学校は改修費用も高く、元々が学校なので役場には向いていないのではないかと。

●庁舎新築が38億1000万円の改修費用が示されたが、最新のものを造ろうとすれば、この位の予算になっても中湧別小学校が良いと思っっている。中湧別小学校は湧別町のほぼ中心的な位置にあるし、用地が十分確保されていることが最大のメリットである。

●人の行き来を考えると郵便局、病院などがある中湧別地区が便利。その中でも、土地が広く駐車場も十分確保できる中湧別小学校のところに新築で建てた方が良いと思う。

●中湧別小学校が良いと思っっている。ほぼ新築で、足りない部分を校舎で補うのが望ましいと思っっている。



新築か既存施設改修かの検討

●デメリットが一番少ないのは新築だと思っっている。一番問題なのは費用だと思っますが、示された面積は今の職員数を基準に算出されたものであって、この先精査して行けば、金額は圧縮できると思っし、いろいろ求められる機能などのことを考えれば、あっち、こっちを直すというよりは、新築する段階で構築していく方が、理想的な庁舎ができていくのかなと考えており、財政支出を抑えた中での新築が一番良いと思っっている。

●TOM近辺にある町有地に新築するのが一番良いと思っっている。TOM近辺に建てるのが良いと思っるのは、道の駅があっ、TOMがあっ、すでに町民の憩いの空間が出来上がっっている中に都合良く敷地があるならそこに建て、役場という目に見えない境界線を感じさせないような空間をあの一带に作り出すというのは面白いのではないかと。必ずしも新築か改修か絞らなくても、新築が一つ、改修の有力な案が一つ位にまとめるやり方

もあると思っ。

●一つに絞らなくても良いという意見もあるが、町長から諮問書を出されたわけだから、答えはある程度絞ってくれということだと思っので、一案2案3案とかなるのであれば意味がないと思っ。

●中湧別小学校校舎を活用できるなら、会議室として使ったらどうだろうという話をしたが、例えば地域のコミュニティの場所として使うことも一つの案と思っっている。しかし、中湧別小学校の経過年数を考えると、改修をメインにするよりは新築をメインにする方が良いと思っっている。

●中湧別小学校の場所に新築、または、中湧別小学校を併用して使っっていくやり方の2つがあっ、って良いと思っ。



※第1回（6月13日）から第5回

（10月26日）に開催された検討委員会の内容を抜粋して掲載しました。今後も検討を進め、町長に答申する予定となっております。会議の詳細（会議録等）は、町ホームページに掲載または役場庁舎（上湧別・湧別）、図書館（中湧別・湧別）にて閲覧できます。

町ホームページ



【検討委員会のメンバー】

委員長	岩佐 雅弘さん
副委員長	高橋 直司さん
委員	長谷川 雄基さん
	樋口 聖哉さん
	野津 玲子さん
	毛利 美紀子さん
	竹部 行義さん
	吉村 諄郎さん
	橋本 三樹彦さん
	槇 典明さん

～カード所有者・取得者に生活支援～

ゆうべつマイナンバー商品券

マイナンバーカードの取得者の増加促進と、エネルギー・食料品価格などの物価高騰の影響を受けている町民の生活を支援するため、マイナンバーカードをお持ちの方に、町内のお店で使用できる「ゆうべつマイナンバー商品券」を配布しています。

◆対象者

町内に住所を有する方で、マイナンバーカードを12月31日（土）までに申請した方。
※役場で受け取りの方は、令和5年3月3日（金）までに受領が必要。

◆支援内容

1人あたり5,000円分の商品券（500円×10枚）
※国が実施しているマイナポイントは最大20,000円分受け取ることができます。

◆交付方法

マイナンバーカードの申請時（ご自分で申請した方は受け取り時）に役場窓口でお渡しします。
※芭露出張所では取り扱いをしていません。

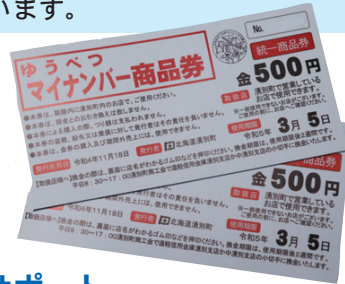
◆商品券の使用期限

令和5年3月5日（日）

◆その他

マイナンバーカードには、税・年金の情報や預貯金額などプライバシー性の高い情報は記録されません。

マイナンバーカードをお持ちの方、12月31日（土）までにマイナンバーカードを申請した方に町内のお店で使用できる「ゆうべつマイナンバー商品券」を配布しています。



◆申請サポート

役場ではマイナンバーカードの申請手続きや写真撮影などをサポートしています。
申請の方法が分からない方などもお気軽にご利用ください。

【申請の流れ】

- ①本人確認書類の提示
- ②写真撮影（無料）
- ③申請書等に記入



【申請窓口】

役場上湧別庁舎・湧別庁舎・中湧別出張所
※中湧別出張所は土日・祝日も開設
※夜間窓口は12月まで毎週火曜日開設（要予約）

【お問い合わせ先】

- カードの申請、受け取りなどに関すること
住民税務課 住民生活グループ Tel.2-5863
- 商品券に関すること
企画財政課 未来づくりグループ Tel.2-5862

広告

12月のイベント

夢の大福引セール

- 売出期間 1月3日まで
- 福引期間 12月29日～1月4日(1月4日 10:00～16:00(4日のみ15時まで))
- 福引会場 住民交流施設さくら

夢の大福引セール実施中!!

特賞「500円玉つかみどり」が当たるチャンス!

現在チュールリップSTAMP会加盟店では夢の大福引セールを実施中です!!
売出期間中のお買上げ200円毎に抽選補助金券を進呈、補助金券6000円分まで1回の福引、満点カード1枚で5回の福引+30ポイントがもらえます。

特賞

500円玉つかみどり

1等

100円玉つかみどり

2等

3,000円券

3等

300円券

チュールリップ

100円券

クリスマスケーキ交換会

満点カード4枚で3000円相当のクリスマスケーキがもらえます!

日時 12月24日(土) 午前8時30分～

場所 (有)サカイ薬局

先着40名

(お1人様1個限り)

チュールリップSTAMP会

「チュールリップカード」左側の有効期限にご注意ください!

イベントにお越しの際にはマスクの着用と会場入り口での消毒をお願いいたします。

事務局/湧別町商工会(中湧別町 文化センターTOM内) Tel. (01586) 2-2278

10/29
11/12

北海道代表として全国の舞台で躍動 障害者スポーツ大会・健康福祉祭

10月29日（土）から栃木県で開催された第22回全国障害者スポーツ大会に齊藤一旭さん（錦町）が、11月12日（土）から神奈川県で開催された第34回全国健康福祉祭に本田勝樹さん（芭露）が出演しました。

2人とも北海道代表として選出され出場したもので、全国の舞台で日頃の練習の成果を遺憾なく発揮。齊藤さんは「一般卓球」部門でブロック別の順位で3位に、本田さんは「ウォークラリー」部門でチーム「北の大地の仲間たち」の一員として準優勝となり躍動しました。

栃木県・神奈川県で開催



好成績を残した齊藤一旭さん(左)と本田勝樹さん(右)

10/
30

芸術の秋深まる 湧別町総合文化祭の芸能の部

湧別町総合文化祭の芸能の部が開催されました。

コロナ禍の影響から、令和2年に湧別地区と上湧別地区の文化協会が統合して初めての開催となった総合文化祭（芸能の部）には、10団体が出演し、たくさんの観客が詰めかけました。

詩舞や舞踊、琴や民謡といった伝統芸能に加え、カラオケやジャズダンスなど多彩なジャンルのステージ構成で、会場からは盛んに温かい拍手が送られ、身近な方々の発表に楽しいひと時を過ごしたようでした。

文化センターさざ波



出演者たちは日頃の練習の成果を披露していました

11/
1

地域の防火意識の向上を目指す 湧別町消防団に1人が入団

湧別町消防団は181人が地域の防火・防災の担い手として、また、災害発生時には消火・警戒などの消防活動を行い、地域の防災リーダーとして活躍しています。

全国的に消防団員数の減少、高齢化等の問題に直面しており、地域の防災力の低下が危惧されています。入団希望の方、興味のある方はお気軽にお問い合わせください。

【お問い合わせ先】 遠軽地区広域組合消防署
湧別出張所消防団係 TEL5-2338
上湧別出張所消防団係 TEL2-4111

湧別町消防団



湧別分団に鶴藤昇大さんが入団

11/
2

絵本をありがとう 遠軽地区森林組合が絵本寄贈

遠軽地区森林組合（平井勝美代表理事組合長）が湧別認定こども園に絵本を寄贈されました。

これは、子どもたちに木育活動を通じて、感性を養ってもらおうと毎年行われているもので、今年は湧別認定こども園に贈られました。

平井勝美組合長からたくさんの絵本が贈呈されると、子どもたちは「ありがとうございます。」と、絵本をかかえながらうれしそうにお礼を言いました。

誠にありがとうございました。

湧別認定こども園



3年連続の寄贈となりました



湧別小学校



8年連続の寄贈となりました

11/2

いろいろな本を読んでみてね

リーディング倶楽部たんぼぼが絵本寄贈

毎週水曜日に1～3年生を対象に読み聞かせボランティアを行っているリーディング倶楽部たんぼぼ（代表 小松初恵さん）より、湧別小学校へ本が寄贈されました。

これは、子どもたちがもっと本に親しんでもらえるようにと毎年寄贈されているもので、絵本や図鑑など、さまざまなジャンルの28冊が寄贈されました。

秋山校長は「子どもたちはいつも本を楽しみにしています。大切に読ませていただきます。」と受け取りました。誠にありがとうございました。

上湧別庁舎応接室



感謝状の贈呈を受けた三橋さん

11/2

長年の功績をたたえて

北海道知事より感謝状

国の各分野の重要な政策や方針を決定するために用いる基礎数値を調査する国勢調査をはじめとした各種統計調査に長年従事した功績をたたえて、北海道知事より感謝状が贈呈されました。

三橋裕介さん（中湧別南町）は、10年の長きにわたり調査員として従事されました。

湧別川の中流（開盛）と下流（北兵村三区）



2カ所の川岸で石の大きさや形などを観察しました

11/7

川のはたらきを学ぶ

湧別小5年生が湧別川を学習

湧別小学校5年生がフィールドワークで川のはたらきなどを学びました。

これは、授業で勉強した内容を実際に確認してもらおうと行われたもので、ゆうべつアウトドアクラブYU-PALの絹張洋史会長を講師に招き、中流と下流の2カ所の川岸で、川の流れや石の大きさなどを観察しました。

子どもたちは、「こんなに流れの速さや川幅、石の大きさが違うとは思わなかった。」「コケに付いているバクテリアが川をきれいにしてくれていることを知れた。」などと話し、川のはたらきに理解を深めた様子でした。

文化センターさざ波



会場は終始笑いに包まれていました

11/8

終始笑いに包まれる

秋の湧別寄席 2022

町教育委員会主催の「笑っていただきます！秋の湧別寄席2022」が開催されました。

落語家の柳家さん喬、桂宮治、立川吉笑、漫才コンビのおぼん・こぼん、漫談家のねづっちの5組が登場し、息の合った漫才や巧みなトークで会場は大いに盛り上がりしました。

大トリを務めた柳家さん喬の落語は、真打ならではの軽快な話口とテンポで笑いに包み、会場に詰めかけた約260人の観客は生で見る落語のしぐさや巧みな話術からなる面白さに魅了されていました。



11/
13

大迫力の演奏を披露

上湧別中学校・湧別中学校合同バンド定期演奏会

生徒数の減少などに伴い3年前から「オール湧別」として合同チームを編成して活動している上湧別中学校・湧別中学校吹奏楽部の第3回定期演奏会は、第1部で和太鼓を用いコンクールでも演奏した「鳥之石楠船神」など、大迫力の演奏を披露。第2部では、多彩な演出で楽しませる工夫が満載のステージが繰り広げられ、大いに盛り上がりました。

アンコールでは、両吹奏楽部恒例の2曲を披露し、およそ30人からなる合同バンドならではの迫力と感動のステージに、演奏が終わった後も、惜しめない拍手が鳴り響いていました。

文化センターさざ波



3年目の今年は、合同バンドとして中学校の部では史上初の全道コンクールに出場し銀賞を獲得し活躍しました

11/
16

元気いっぱいに日頃の成果を披露

各学校で学芸会

町内の各学校で学芸会が行われ、児童たちは劇や器楽演奏などを元気よく発表しました。

湧別小学校では新型コロナウイルス感染症の拡大を受けて開催時期が遅れ、参観日に合わせて開催することとなりました。

最初で最後の小学校の学芸会となった1年生は、初めての学芸会ということもあり緊張した様子でしたが、元気いっぱい一生懸命練習してきた成果を披露。この日を待ちわびた保護者は目を細めながら、温かい拍手を送っていました。

湧別小学校



「うんとこしょ、どっこいしょ」力を合わせてカブを抜く

11/
19

あれもこれも擦文文化？

遺跡調査報告会

シブノツナイ竪穴住居群の今年の調査は、形状の違う隣合った3基の竪穴住居跡で行われました。

発掘された土器の種類（模様）や放射性炭素年代測定から擦文文化の後期の竪穴住居跡が多いことが分かってきたことや、形状が違う竪穴住居なのに擦文文化の後期という結果がでてきたことから、別の竪穴住居を作る際に形が崩れたのか、それとも擦文文化後期に集中したもので、他の遺跡にはない固有のものなのか、など新たな課題ができたことが報告されました。

今後の調査でさらに解明されることが期待されます。

学芸員の林勇介さんより調査結果が報告されました



シブノツナイ竪穴住居群は、約1,000年前の竪穴住居跡を主体とする北海道指定史跡で、530基の竪穴住居跡が確認されている

11/
20

ふるさと湧別に思いをはせて

東京湧別会総会

湧別町出身者などで構成されている東京湧別会の総会が3年ぶりに開催されました。

総会では、刈田町長より開催にあたり祝辞と町の近況について報告があったほか、役員改選が行われ、新たに後藤義英さんが新会長に就任しました。また、昨年創立35周年を迎えたことを記念し、東京湧別会より町にアナベルの花苗をご寄贈いただきました。

総会に引き続き行われた懇親会では、懐かしい顔との再会に盛り上がり、ふるさと湧別の話題で交流や親睦を深めました。

東京都で開催され約50人の会員が参加



後藤義英会長（左）と刈田町長（右）



イベント・行事スケジュール

12月10日から1月20までに行われるイベントや行事をお知らせします。

12月10日(土)	チャレンジスポーツスクール「フロアボール」(10:00 湧別総合体育館) パラパラブックワークショップ(13:00 文化センターさざ波)	
11日(日)	家庭教育研修会(9:00 文化センターTOM)	
14日(水)	健康運動教室(14:00 文化センターさざ波)	
17日(土)	湧ゆう湧くわく体験塾「ネイチャークラフトづくり」(9:00 文化センターさざ波)	
18日(日)	カルチャー教室「フラワーキャンドルランタンワークショップ」(10:30 文化センターさざ波)	
23日(金)	健康運動教室(14:00 文化センターさざ波)	
29日(木)	役場仕事納め	
1月5日(木)	役場仕事始め 湧別町消防団出初式(10:00 文化センターさざ波)	
8日(日)	令和5年20歳の集い(12:30 文化センターさざ波)	
10日(火)	ジュニアスケート教室(13:30 芭露スケートリンク)～13日	
13日(金)	健康運動教室(14:00 文化センターさざ波)	
14日(土)	湧ゆう湧くわく体験塾「氷下釣り」(9:00 芭露川)	
17日(火)	ニューススポーツdeあそぼ(19:30 湧別総合体育館)	
19日(木)	チューリップ生きがい大学講演会「臨床宗教師の現場から」(10:00 文化センターさざ波)	
20日(金)	健康運動教室(14:00 文化センターさざ波)	

※新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、中止または延期となる場合があります

湧別庁舎の移動町長室は12月お休みします

今月は、自治会に出向いてまちづくりについて住民の皆さんと懇談する「まちづくり懇談会」が行われていますので、年内はこの移動町長室はお休みさせていただきます、来月1月から再開いたします。

◆お問い合わせ先 総務課広報・自治会グループ(上湧別庁舎) TEL2-2112



各種大会で活躍

※町内在住で、全道規模以上の大会等に出場した方・団体を掲載しています。(敬称略)

◆第5回全国U18女子セブンズラグビーフットボール大会(10/21～23:埼玉県熊谷市)
北海道選抜として出場
吉田 もも(湧別高1年)

◆コントリビュートカップ第38回秋季東日本中学生軟式野球大会(11/19～20:千葉県柏市)
北海道選抜U-13としてベスト8
相馬 空(湧別中1年)



吉田さん(2列目の左から1人目)



広告

温まり感が違います!!
水曜日は **薬草湯** の日

12月の薬草湯は
イチジク・ハマナス・ローズマリー配合 薬草湯 です

不老長寿といわれているイチジク、ビタミンCを多く含むハマナス、ローズマリーの香りで代謝促進に効果が期待できます。

かみゆうべつ温泉 **チューリップの湯**
湧別町中湧別中町 ☎(01586)4-1126 沢口産業株式会社

カーライフプラン
金利割引実施中

所定の審査がございます。商品内容等、詳しくは当金庫ホームページをご覧ください。窓口へお問い合わせください。



ふれあい さわやか
遠軽信用金庫

<https://www.shinkin.co.jp/engaru/>

